

令和 8 年度事業計画

令和 7 年度の事業活動では、公開シンポジウムについては連続テーマ“世界”の第 3 回を実施し、哲学講座については例年同様に初夏、中秋、初春の 3 期開講した。また出版等については夏に開催した日独国際ワークショップのプロシーディング集、および年報「文明と哲学」を刊行した。

令和 8 年（2026 年）3 月に本研究所は創立 70 周年を迎えた。長年にわたる日独学術文化の研究成果の蓄積を元手に、今後の事業展開・事業運営を検討しつつ、本年度も公益目的事業を堅実に継続して遂行する。

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第 4 条第 1 項第 1 号）

・公開シンポジウム

新たなテーマを設定し、第 34 回公開シンポジウムを開催する。

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第 4 条第 1 項第 2 号）

・年報「文明と哲学」第 19 号の刊行など、編集委員会での検討を踏まえて実施する。

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

・哲学講座

一般市民、学生、研究者等を対象とする哲学講座を初夏、中秋、初春の 3 期（1 期 6 回）を開講する。

・オンライン講義

役員が講師をつとめ、一般市民、学生、研究者等を対象とするオンライン配信の講義を随時開講する。

そのほか、研修会や講演会などの開催要望にも適時対応、実施する。

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第 4 条第 1 項第 4 号）

・「所報」第 15 号を発行し、関係者及び関係団体へ配布する。

・ホームページに日常の活動を随時掲載し、SNS による発信を充実させる。

・地下書庫の蔵書の公開体制を充実させる。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

・国際ワークショップ

日独の研究者を招聘し、「共生のコンパシオンと現代社会」と題する宗教学・哲学・倫理学の共同ワークショップを開催し、成果をプロシーディング集として刊行する。

そのほか、哲学系においてはニュルンベルクのサステナビリティ研究所(eco2050 Institut für Nachhaltigkeit - Institute for Sustainability GmbH)、チュービンゲン大学の学際的・間文化的研究センター(CIIS)との連携を継続する。また、医学系・法学系においては原則として役員の在籍する国内の大学等と連携し、主にドイツ語圏から研究者を招待して講演会・シンポジウム等を開催する。

以上